

2014年度 第3回 常任理事会議事録

日 時：2015年2月19日（木）10：30～17：00

場 所：エッサム神田 401 号室 東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2

I. 開会

II. 会長挨拶：石材業界は様々な課題をかかえています。皆様の力強いお力を借り課題をクリアしていきたいと思えます。石博への力添え、近畿地区が担当をしている6月の総会 とともに理事の皆さまの協力をお願いします。

III. 議事

1. 議長選出：森田副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗

2. 定足数確認

常任理事：出席 30 名（午前 28 名・午後 30 名）/37 名中 監事：出席 3 名（3 名中）

顧問：0 名 事務局：3 名 合計：35 名 経産省 2 名

3. 議事録署名人の指名：佐藤利男副会長 監事：中江 勁

4. 資料及び議案の確認、新議題の採択（なし） 前回議事録の確認

①第2回理事会 ①第2回常任理事会 ②第5.6回正副会長会議 *メールにて配信済み

【審議事項】

(1) 入退会者について（入会 2 名 / 退会 4 名） 大代専務 審議 P1+追加

入会：2 名 ⇒**全会一致にて承認** *㈱日本銘石：申込書では小売となっているが、加工に訂正

退会：4 名 ⇒**承認**

(2) 【お墓D】終活フェスタ出展（出展に関して部分審議）に 中村委員長 審議 P6

中村：昨年は1日であったが2日間開催。一般の参加者が大変多い。業界の横の繋がりもできるメリットがある。会場料が少々高いがそれ以上の効果があると思う。

日程、予算の部分審議。

⇒**全会一致にて承認**

(3) 【広報】HP『お墓の窓口』について 上野委員長 審議 P9

上野：お墓の情報提供。お墓のキーワードで「お墓の窓口」サイトをもっと上位にしたい。サーチエンジンの対策。サイトを上位にあげ、石産協HPにつなげたい。月額12万 半年間行いたいと思う。予算は昨年一部上げている。

大代：予算科目：賃借料→委託費に訂正

新田：今のままの現状だけでは駄目なのか？

上野：広報委員会としてはお墓参り等の検索結果を上位にあげたい。

大木：半年後結果が出たら、それ以降毎月12万の経費。予算あつての事業だと思う。充分可能なのか？

上野：結果が出なければ、記事をつくり、別の方法にする。消費者がパソコンを利用しているのでHPは重要である。会員向けと一般向けHPをつくっている。

⇒**全会一致にて承認**

(4) 【役員候補者管理委員会】委員承認について 大代専務 審議 P20

大代：前回正副会長会に於いて、「役員候補者管理委員会」の委員選任について、一任を頂きましたので、候補者を挙げた。4月に委員長を候補の中から選出する。

⇒**全会一致にて承認**

(5) 定時総会について 大代専務 審議 P21

水野：定時総会案内を3月の石産協通信にて配布。定時総会前に和歌山の支部設立総会を行いたい。定時総会懇親会において吉本興業を呼ぶ予定であるが、スケジュールの関係で3か月前にならないと決定しない。研修会は奈良、滋賀、京都。予算的には厳しいと思う。

井口：予算の件だが参加者の人数が集まればフォローできると思う。皆さんの協力をお願いしたい。

⇒**全会一致にて承認**

【協議事項】

(1) 【定款】賠償保険について 白木副会長 協議 P23+A3

白木：東京海上日動火災保険より資料を基に説明をお願いします。後日、事務処理の軽減を図る為、事務局と相談の上、決めたい。

東京海上日動火災保険 飯島氏

■ 請負業者賠償責任保険と生産物賠償責任保険のセット型の保険となる。

請負業者賠償責任保険・・・仕事中に第三者に誤って損害を与えてしまった場合。従業員の場合は対象外。

(労災保険に該当のため) 車両等に関する事故の場合は自賠責保険・自動車保険より支払、カバーできなかった金額があれば請負業者賠償責任保険にて支払可能。**墓石工事が対象。墓石工事に準ずる場合も対象。**リース車両は対象外。

生産物賠償責任保険・・・仕事(工事)終了後のリスクの保障。墓石設置完了後における対物、対人の保障。

◇ 対人の場合1事故につき1億円を限度額し、対物の場合1事故につき1000万円の限度額となる。完成工事高によって保険料が決まる。100社加入で算出している年間保険料。

◇ 地区ごとに説明に行くことも可能。墓石盗難は対象外である。

年間保険料は完成工事高を材料代と工事代に分けず売上金額(決算書上の年間工事高)《年間完成工事高》は施工費ではない。

下請けも対象だが確認要。年間工事高は申告によるものであるが、事故が起こり保険料の請求の際に過小申告であった場合、保険料が支払われない場合もあるので気を付けていただきたい。

寺院、仏閣、民家対象である。支払は限度額まで。

◇ 100社加入前提の提示保険料となっており、初年度1年間は提示保険料。申込者数に増減があった際次年度より金額が前後であり、事故があまりにも多かった場合も保険料の変動の可能性がある。

生産物賠償責任保険の効力期間は工事の結果に起因しているか現場を確認したうえで保険料が支払われる。

白木：⇒再度検討のうえ5月理事会にて審議

(2) 【定款】支部運営規定について

白木副会長 協議 P26

白木：支部運営規定の第2条と第6条2点の変更案。5月の理事会にて審議であるが、現状の支部運営規定が違っている場合を踏まえて各支部審議いただきたい

議長：年度末が近づいている。支部運営規定13条第2項に則り、支部運営規定修正に努めていただきたい。

白木：4月以降に行われる支部総会で規約を整備するために、審議事項への変更をお願いします。

賛成 29名 白票 3名 ⇒審議へ変更

新田：持ち帰って支部長の意見を聞きたい。退会の勧告について意見を聞きたい。

越智：第6条2項は支部では拘束力がなく、中途半端であるように思える。

白木：本人から退会届がでないで退会扱いにできない。支部会費未納者に適用できるかという問題がある。

支部より退会勧告後、理事会にて諮るほうが良いと思う。

長江：支部長抜きで、支部の事を決めてよいのか？本部会費は支払、支部会費は払っていないという問題点。支部運営をしているのは支部長であることから疑問点を残したままは良くないのではないかと

白木：入会時に支部に所属するとなっていることから支部運営費を払わなくてはいけない。ということから理事会で諮る必要がある。除名の場合は総会にて諮る。支部で退会を決定するのは問題がある。

柴田：運用する支部長の意見を聞くべき。

大木：期間などを定めて退会条件を決めてはどうか？

福川：第6条2項はカッコ書きにしてはどうか？

白木：各支部にて支部規定の文面を変更する場合は理事会に提出していただきたい。

⇒賛成 29名 白票 3名 可決

(3) 【定款】支部・地区事業助成金交付規程

白木副会長 協議 P30

白木：支部・地区が事業実施にあたり、本部より助成する基準、方法を定める。

岸本：助成金の提案は年度初めなのか又はその都度なのか？助成金の上限金額、支部負担の割合と助成金の割合はどの程度なのか？周年事業は助成金の対象となるのか？

白木：今後検討。石産協の予算も限られているので、助成金全体の予算取りをして取り組みたい。一般エ

ンドユーザーに向けての事業が対象になるかと思われる。

越智：エントリー時期の新年度早々は難しい。幅のある期間でエントリーできるよう配慮をお願いしたい。

佐藤：助成金は公益的事業（有益事業）のみに特化した方がよい。

大代：支部の収益事業は基本的には行ってほしくはない。それに代わる事業があればと思う。

柴田：公益性に関するガイドラインが必要だと思う。

⇒継続協議

(4) 【定款】年会費について 白木副会長 協議 P35

白木：前回は協議したが、年会費と会員種別について協議を願う。

井口功：年会費の値上げの反対は全体の意見だと思うが、消費税UP、石産協の事業拡大により昨日の地区長会議では会費の値上げは仕方ないという意見が多い。準会員はもう正会員となると決めてしまうほうがよいのでは。A会員の値上げはしないほうがよいのではないかという意見もある。

岸本：支部会員へ会費値上げに関しては文章にて理由をのべ会員の理解を求める形がよいのではないか。

川本：入会審査基準についてだが、墓石売上高 50%の線引きは疑問。準会員をなくし正会員としたほうがよいのではないか。保険会社、旅行会社等を賛助会員ということで検討してもらえないか？今正会員となっている会員で石材の売上が 50%満たない会員を準会員とするのは難しいのではないか

白木：試案をつくり検討をさせていただきたいと思う。

斎藤：値上げの理由をはっきりしていただきたいと思う。

越智：準会員が不公平感を感じるのではないか。

水野：議決権の差しかなく、協会に賛同して入会となったので同じ正会員でよいのではないかと思う。

柴田：現在業界の市場から考えると準会員は中途半端であると思う。しかし協会の根幹という部分から何故最初に準会員の項目を作ったのか？会の成り立ちを揺るがすことになるのではないかと不安である。会費と準会員の話は切り離して考えた方がよいと思う。

井口健：準会員について設立当時は当初不安のあった一行であるが 10 数年経った現在、準会員の方向性を再検討。

⇒継続協議

(5) 2015 年度事業計画・予算について 大代専務 協議別添資料①+A3

専務：総会資料にも関わることなので期日までに事業計画書等の提出をお願いしたい。各委員会、部会、地区より予算内容説明。次年度は赤字予算である。

各地区長、委員長、部会長より内容説明

議長：特に質問等なし。

⇒次回 5 月理事会にて審議

【報告・依頼事項】

(1) 【関連】金箔講習会報告決算について 竹ノ内部会長 報告 P36+差替

竹之内：実技講習はとても関心が高い。

(2) 【お墓D】1 級研修会予算修正について 中村委員長 報告 P38

中村：1 級研修会の修正予算報告。正副審議済み。現在 20 数名参加予定。

(3) 【お墓D】第 11 回検定試験について 中村委員長 報告 P41

中村：1/28 全国 7 会場で開催した。1 級記述式問題という新しいスタイルとし、委員会にて採点。1 級合格率は過去一番低い率となった。新テキストの発刊が遅れたことを反省している。試験内容は委員会として自信をもっている。1 級記述式の得点は教科書を読みこんでいれば得点できている結果であった。マークシートの正解率が低かったように思える。1 級記述式の模擬解答例は出さない。

長江：今後の出題に関して執筆者を交え考える方法もあると思う。

(4) 【NIPPON 石博実行委員会】進捗状況と依頼事項について 二上委員長 報告 P42

二上：本番まで 2 週間余りとなった。当日スタッフのお願いにて 100 人のスタッフが集まった。多くの協力者に感謝する。P43 モニュメントのコンセプトに真鍮をつける。真鍮の製品が足りていないので協力をお願いしたい。福島県川内村に終了後寄贈。6 日搬入 9 日搬出の交通誘導等の協力をお願いしたい。石博ポスターを文京区・台東区の小、中学校へ配布した。

長江：3/7 に懇親会を予定している。是非参加ください。

(5) 【広報委員会】石博広告協賛について 上野委員長 報告 P44

上野：当初の計画より多くの広告協賛が集まった。

(6) 【広報委員会】小さな祈りプロジェクト（博報堂）について 上野委員長 報告 P45

上野：前回の理事会の結果を重く受け止めている。誰かのために祈るというプロジェクト。石博にて祈り鶴に願い事を書き、鶴を折る。（紙を丁寧に折るとき誰もがそこに祈りに似た優しい気持ちとなる）

(7) 免税軽油について 太田副会長 報告 なし

太田：昨年末、軽油引取税の減税期間が終わるということから要望書を提出。3年間減税期間延長。全国組織があって、対応ができることだと思う。

(8) 産経新聞社事業協賛について 大代専務 報告 P48

大代：サンケイ新聞の名義使用が可能となった。

(9) 全日本仏教会 駅伝サポーター募集について 大代専務 報告 P49

大代：3万円の協賛金を支出

(10) あじストーンフェア広告協賛について 大代専務 報告 P50

大代：広告協賛10万円 石産協賛1万円

(11) 2014年度会費未入金 大代専務 報告 P51

大代：3月までに入金がないと退会扱いになる。速やかに会費の入金があるようお願いしたい。

(12) 年間スケジュールについて 大代専務 報告 A3別添

大代：他予定があれば、事務局まで連絡をお願いする。支部の総会日程・総会資料を事務局までご報告ください。

(13) 補助金事業について（経済産業省より） 大代専務 報告当日資料

経済産業省宮村氏より補助金の概要説明、

水野氏より春先にかけてどのような補助金があるか資料説明（試作品開発、設備投資を支援する施策）石材関係も採択されている。各都道府県のホームページに掲載があるので確認してほしい。

資料は後日 HPに掲載

IV. 監事講評

中江：本日の会議は活発でスムーズな運営だったと思う。

伯井：経産省よりの情報、説明ありがとうございました。お墓ディレクター大変ご苦労だったと思う。

石博の運営、広報の運営等 深い議論が進められたこと、素晴らしいと思う。

V. 閉会

2015年2月19日

議事録署名人 : 佐藤 利男 ⑩

議事録署名人 : 中江 勁 ⑩

議長 : 森田 浩介 ⑩

議事録作成人 : 事務局 中村早苗